

令和三年度秋季企画展

全盛期の縄文土器

——圧倒する褶曲文——



円環突起付台付鉢
(塩尻市上木戸遺跡)
当館蔵



火焔型土器【国宝】
(新潟県十日町市笹山遺跡)
十日町市博物館蔵



水煙文土器【長野県宝】
(富士見町曾利遺跡)
井戸尻考古館蔵

人びとはなぜ
こんなにも
土器を華やかに
そして
大きくしていったのだろう

Photo by Ogawa

■開館時間 午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
■休館日 毎週月曜日【ただし9月20日(月・祝)は開館】
祝日の翌日【9月21日(火)・9月24日(金)・11月4日(木)】

■観覧料

区分	企画展 (ミニトーク・こども体験)	企画展+常設展 (全イベント)	常設展 (講演会・講座)
一般	300(200)円	500(400)円	300(200)円
大学生	150(100)円	250(200)円	150(100)円

・()内は20名以上の団体料金です。
・高校生以下は無料です。
・障がい者手帳などの交付を受けている方
と同伴者は無料です。
・お得な年間パスポート(1,500円)も
販売しています。

2021
9/18 > 11/23
【土】 【火・祝】

長野県立歴史館

NAGANO PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY
千曲市大字屋代260-6 (科野の里歴史公園内)
TEL.026-274-2000 (代表)
026-274-3991 (総合情報課)
HP.https://www.npmh.net/

主催：長野県立歴史館
後援：信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、
市民新聞グループ(7紙)、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、
(一社)長野県ケーブルテレビ協議会、FM長野、FMぜんこうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団

令和3年度秋季企画展

全盛期の縄文土器

— 圧倒する褶曲文 —

土器は生活の道具であると同時に、その文様はアイデンティティーや集団間の関係を映し出す鏡です。先祖伝来の動物文様を駆使しつつ他を圧倒する褶曲文土器、遠くの文様を柔軟に取り入れ、新たなる造形にチャレンジした水煙文土器。約5,000年前から100年間、なぜこれほどまでに土器装飾が複雑化したのか考えてみましょう。



蛙文有孔罎付土器【長野県宝】(宮田村中越2遺跡)
宮田村教育委員会蔵



褶曲龍目文深鉢【長野県宝】(茅野市棚畑遺跡)
茅野市尖石縄文考古館蔵



褶曲文深鉢 (岡谷市梨久保遺跡)
市立岡谷美術考古館蔵



水煙文土器 (山梨県南アルプス市北原C遺跡)
南アルプス市教育委員会蔵



Photo by Ogawa

火焰土器【重要文化財】(新潟県長岡市馬高遺跡)
長岡市教育委員会蔵



Photo by Ogawa

水煙文土器 (山梨県甲州市安道寺遺跡)
山梨県立考古博物館蔵

※本誌掲載写真は当館蔵を除き、所蔵機関より提供。

関連イベント

下記関連イベントは事前申込が必要となります。
8月26日(木)受付開始予定です。

講演会 (定員80名)

内容: 「4900年前の大変動・地域集団の再編」
日時: 9月26日(日)13時30分～15時00分
講師: 安齋正人氏(元東北芸術工科大学教授)
※講座券(常設展観覧券300円)が必要

講座 (定員80名)

内容: 「褶曲文の技と水煙文土器の誕生」
日時: 11月6日(土)13時30分～15時00分
講師: 水沢敦子(当館学芸員)
※講座券(常設展観覧券300円)が必要

ミニトーク (各回定員15名) 講師は当館学芸員

10月2日(土)11時30分～12時00分 「土器に見える動物文様」柴田洋孝
10月30日(土)11時30分～12時00分 「炭素窒素同位体比による煮沸対象」鶴田典昭
11月6日(土)11時30分～12時00分 「水煙文土器の修復」白沢勝彦
※企画展観覧券(300円)が必要

こども体験講座 (定員10組)

内容: 「土器の胎土を偏光顕微鏡でのぞこう」
日時: 10月30日(土)13時30分～15時00分
※親子での申込、および保護者の方は企画展観覧券(300円)が必要

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況によって、企画展および関連イベントの中止・延期・人数制限などをおこなう場合があります。詳しくは当館公式サイトをご確認いただくか、お電話にて総合情報課(026-274-3991)までお問い合わせください。



公式 Twitter
はじめました

長野県立歴史館
(けんれき)

